



NO 14

令和6年3月1日

文責：喜多三郎

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』

島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

○いよいよ最終章の3月

「梅一輪一輪ほどの暖かさ」という俳句に詠まれているように、梅が一輪咲き、また、一輪咲くたびにだんだん暖かくなってきています。今年は、随分と早く、もうすでに咲いてしまいましたが。空もうららか、花のにおい、鳥のさえずり、子どもたちの節目を祝うかのように、季節は確実に春へ向かっています。しかしながら、人の心まで浮きだってしまうのも今日この頃ではないでしょうか。感染症等予防を十分に行いながら、全校あげて卒業式や修了式に向かいたいと考えております。今年度、最後まで子どもたちが安心・安全に笑顔で登校できるよう、全職員一丸となって努めてまいります。年度変わりあたり、家庭・地域の皆様方のなお一層の、ご支援・ご協力をよろしく願いいたします。



時です。今年度の卒業式は、3月19日（火）に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。そして、3月22日（金）に修了式・離任式を予定しています。



○第3回学校運営協議会開催

2月28日（木）、今年度第3回目の学校運営会議を開催いたしました。午前中に会議を行い、委員の皆様方に給食も試食していただきました。この1年間の子どもの成長した姿を見ていただくとともに、学校教育目標における今年度の取り組み及び学校評価への検証、並びに課題等について意見交換をしていただきました。委員の皆様方からは、子どもたちの登下校の安全やあいさつについてお褒めや励ましの言葉をいただきました。また、学校経営についても、目標に向かって頑張っている点をたくさん評価していただきました。委員の皆様から出された意見等を全職員で共有し、今後や新年度に生かしていきたいと考えています。これからも共に、「家庭の宝・地域の宝・学校の宝」である子どもたちをより輝かせ成長させるため、なお一層のご理解・ご協力・ご支援等をよろしく願いいたします。委員の皆様方、多数のご参加、誠にありがとうございました。

○ひな祭り、桃の節句

3月3日は、桃の節句、雛（ひな）祭りです。ひな人形を飾り、ひなあられやひしもち、白酒を供えてお祝いをするのが昔からの習わしでしょうか。この人形は、邪気を払って子どもを守るための身代わりとされています。七段飾りの一番上「内裏雛（だいらびな）」が一段目。ちなみに関西では、向かって左側が女雛、右側が男雛となるが、関東では左右反対なのとか。皆さんのお家でいかがでしょうか。また、お菓子屋さんに行けば、長崎名物の「桃カステラ」を見かけます。子どもと一緒に桃のカステラを食べながら、昔から伝わるひな祭りのお話などされてはいかがでしょうか。



このひな祭りの頃は、子どもたちにとっては、なんとなく心が弾む時期です。桜のつぼみも膨みはじめ、春が待ち遠しい頃でもあります。学校では、卒業や進級に向けて、卒業生・在校生が心一つにする

○表彰の紹介

【2023年度「第69回子ども県展」】

〈版画の部〉

- (特選) 2年 下田千紘 さん
- (入選) 2年 池田有鈴 さん
- 2年 本田琥太郎 さん
- 2年 松崎ちえ さん
- 5年 伊藤星生 さん
- 5年 北田朔一 さん



【第67回西日本読書感想画コンクール】

- (入選) 1年 鐘ヶ江夢叶 さん

【第22回南島原市現代版画展】

(奨励賞 第4部門)

6年1組

6年2組



○卒業・進級によせて (part1)

教師はこの1年間、子どもたちとうれしかったこと、楽しかったこと、悔しかったことなど、様々ことを共に過ごし、温かい絆を築いたとしても、ひとまず卒業・進級という節目をもって関係は変わります。親子関係はといえば、いずれかがこの世とお別れするまでは、付き合い続けなければなりません。卒業したから成人になったからといって、後は「自分の力で生きて行きなさい」とは、なかなか言えませんし言わないと思います。それだけに親は、つい子に口やかましいことを言ったりしがちです。なぜなら子どもの前途が、親の前途にもなり得るからです。「あなたのために言っているのよ」と言ったりしても、子どもは、「自分(親)のためだろう」と反発してみたくなるものです。親子の関係は、「この日をもって」とさっぱり割り切れるものではありません。だとしたら、成績の善し悪しや互いの行動や振る舞い等、比較や周囲に惑わされることなく、互いにその存在をまるごと前向きに肯定するしか前途に生きる道は拓かれていかないのではないのでしょうか。とりわけ、子どもは親に期待してもらいたいし、言葉に言わなくとも、親の姿を見て尊敬し感謝していると思います。

『子ども叱るな来た道じゃ、

年寄り笑うな往く道じゃ』

ただ、日々、多忙な中で、思いどおりに進んでくれない子には口やかましくなりがちです。それだけに、卒業・進級などの人生の岐路に立つ日には、「がんばったね。よくがんばっているね。」などと声をかけてあげてください。子どもは、「生きている」だけで努力しています。一の努力も十の努力も、努力が変わりありません。次のステージへと進む子どもたちに、温かいエールをお願いします。

(子ども家庭教育フォーラム代表

富田富士也 氏 の文一部引用)

○卒業・進級によせて (part2)

いい子だから、かわいがるわけではありません。
かわいがるから、いい子になるのです。

子どもを幸せにするのなんて

とても簡単なことですよ。

親が笑顔なら

それだけで子どもは幸せなのです。

自分が親を幸せにしたと思って

自信たっぷりに育っていくのです。

人は皆未熟なのだから

頼り頼られ、迷惑をかけ合いながら

成長していくのだ。

そういう人間関係が増えていくと

「わたしはわたしのままでいい」

「この子もこのままでいい」

という気持ちが育っていく。

期待は一見すると愛情のような形をしています。

でも、その期待を子どもが受け取ったとき、

子どもにとってそれは

愛情には感じられないことのほうが多いのです。

ありのままの自分を拒絶されたと感じるのです。

「いまのあなたじゃダメなのだ」

というメッセージになるからです。

「大丈夫ですよ。必ずいい子に育ちます。」

(『この子はこの子のままでいいと思える本』

佐々木正美 主婦の友社 引用)

【3月の行事予定】

1日(金) 少年の日、あいさつ運動

5日(火) フッ化物洗口

7日(木) 児童集会

11日(火) フッ化物洗口

14日(木) 児童集会、卒業式リハーサル

19日(火) 卒業式(5・6年生のみ参加、
4年生以下休み)

21日(木) 児童集会、中学校連絡会

22日(金) 修了式・離任式(給食なし)

※変更になる場合があります。